

## 就学相談に関する学校資料(質問紙)

学校長様

お願い

この質問紙は、就学相談の申込みがありました児童生徒の学校での様子を踏まえて、円滑な就学相談につなげるために必要な資料です。締切日までに、電子申請システムにて必要事項を入力の上でこのファイルを添付して申請してください。

なお、作成に当たっては、保護者とも十分に話し合ってください。また、本質問紙は保護者の希望があれば提示します。

※ 記載内容については、保護者の了解に基づき、就学先に提供します。

※ 相談日や会場等については、別途お知らせします。

北九州市立特別支援教育相談センター

〒802-0803 北九州市小倉南区春ヶ丘10番2号

電話(093)921-2230

FAX(093)923-3010

黄色いセルに質問事項をお答えください。

児童生徒氏名

北九 一郎

生年月日

平成20年5月5日

氏名(フリガナ)

キタクユウ イチロウ

学 年

6

在籍校名

〇〇小学校

電 話

093-0000-0000

学級種別

特別支援学級&lt;知的障害&gt;

障害種

なし

「通級による指導」もしくは「特別支援学校<その他>」を選択された場合障害の種類を記入

記 入 日

令和3年4月10日

学校長名

〇〇 〇〇

〔担任の記入欄〕 ※ 該当児童生徒の様子の方が記入してください。

(校-2)

児童生徒氏名 北九 一郎

記入者 □□ □□

① 教育歴	保育所(園)、学校・園名	期間	特記事項
就学前	A幼稚園		
小学生 (特別支援学校 小学部)	B小学校	学校	H.〇〇~H.〇〇
		学校	
中学生 (特別支援学校 中学部)		学校	
		学校	
② 検査等の記録	実施年月日	検査等の名称	検査等の結果
	H.〇〇.〇.〇〇	田中ビネー知能検査V	CA: MA: IQ
	※CRT、全国学力・学習状況調査等も含む		
③ 基本的な生活習慣について(当てはまるアルファベットを選択してください)			
a. 支援の必要なし b. 声かけ等の配慮が必要 c. 介助等の個別の支援が必要			
● 身辺処理		〈必要な配慮や支援を踏まえた具体的状況〉	
ア 移動(歩行・安全面)	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣はほぼ確立している。</li> <li>・机の中にはプリントがたまっていることが多い。</li> <li>・髪をとく、下着が出ないように着るなど身だしなみに関して、声かけや確認が必要である。</li> </ul>	
イ 食事	a		
ウ 排泄	a		
エ 衣服の着脱	a		
オ 整理・整頓	b		
④ 学校生活について			
a. 支援の必要なし b. 声かけ等の配慮が必要 c. 介助等の個別の支援が必要			
● 言語理解		〈必要な配慮や支援を踏まえた具体的状況〉	
ア 一斉指示で理解できる	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意がそれて、聞いていないことがあるので、一斉指示の後、確認するようにしている。</li> <li>・複数の指示を聞いただけでは忘れるので、メモを渡している。</li> <li>・学級での担任の話や学年集会での話は、おおむね理解できる。</li> </ul>	
イ 複数の指示が理解できる	b		
ウ 学年相応の内容が理解できる	b		
● 意思の伝達		〈必要な配慮や支援を踏まえた具体的状況〉	
ア 要求を伝える	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか自分の思いや意思を表明できない。</li> <li>・言葉数は少なく、頼まれたことや、聞かれたことに応じることが難しい。自分の意志とは違って、肯定してしまう傾向があり、思いを伝える練習をしている。</li> <li>・不安なことや分からないことを言葉にできず、困っている様子の時もある。</li> </ul>	
イ 経験したことを伝える	b		
ウ 簡単な伝言をする	b		
エ 要求されたことに応える	b		
● 日常会話		〈必要な配慮や支援を踏まえた具体的状況〉	
ア 家族との会話がができる	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校よりも家で話すことの方が多い。</li> <li>・ごく限られた友達と話す。</li> <li>・担任や関係職員には、めったに話しかけてこない。聞かれたことに対しては、いやな顔をせずに答えることができる。</li> </ul>	
イ 友達との会話がができる	b		
ウ 教員との会話がができる	b		
● 対人関係		〈必要な配慮や支援を踏まえた具体的状況〉	
ア 時や場所、場合に応じた挨拶をする	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・几帳面でまじめな性格であり、あいさつはきちんとできる。</li> <li>・昼休み、一人であることが多いが、全員で遊ぶ日には、参加することができる。</li> <li>・相手が悲しい、うれしいと思っていることは理解することはできるが、周囲を意識して生活している様子は少ない。</li> </ul>	
イ 相手の話を聞く	b		
ウ クラスの友達と遊ぶ	b		
エ 相手の気持ちを理解する	b		

児童生徒氏名 記入者 

● 集団参加について		〈必要な配慮や支援を踏まえた具体的状況〉
ア 一斉指示に従って行動する	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会や学習発表会などで集団から離れて勝手な行動をすることはない。約束を守り、正しい行動をすることができる。</li> <li>・簡単な仕事は責任をもってできる。</li> </ul>
イ 簡単な仕事をする(手伝い等)	a	
ウ 集団の中で同じ活動をする	a	
エ 約束・ルールを理解して守る	a	
● 学習態度について		〈必要な配慮や支援を踏まえた具体的状況〉
ア 学習の準備や後片付けをする	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用意するものが多い教科では、準備や片付けに時間がかかる。</li> <li>・まじめに問題に取り組むが、分からない問題にあたると、鉛筆が止まってしまう。次の問題へと進まないため、声掛けが必要である。</li> <li>・姿勢が崩れることはない。</li> </ul>
イ 課題に集中して取り組む	b	
ウ 姿勢を保って学習に参加する	a	
● 行動特性について(得意なこと、苦手なこと、気になる行動などを記入してください)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から発信することが少ない。</li> <li>・初めての場面や極度の緊張状態になると吃音が激しくなる。</li> <li>・受け身になってしまうところがあったが、最近は自分の判断で選択できるようになり、嫌なことに対しても意思表示をし始めた。</li> </ul>		
● 国語について(具体的状態を記入してください)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲があり、学力の向上が期待できる。</li> <li>・6年生の漢字の読みができる。書く事に関しては日常生活でよく使われる漢字を中心に学習している。</li> <li>・情景や行間の読み取りは難しい。</li> <li>・吃音があるために、音読を調子よく読むことは苦手であるが、拒否することはない。</li> <li>・作文を一人で書くことは難しく、参考になる文を見たり話し合ったりすると書くことができる。</li> </ul>		
● 算数・数学について(具体的状態を記入してください)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいことを理解するのに少し時間を要するときがある。</li> <li>・算数に関しては教科書4年下～5年の内容を学習している。</li> <li>・図形の理解や定規、コンパスの使用は苦手である。</li> </ul>		
● 他教科について(具体的状態を記入してください)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育学習での、走る、跳ぶ、鉄棒などは苦手である。球技のルールはだいたい分かるが、スピードについていけないところがある。水泳は苦手である。</li> <li>・音楽での、リコーダー演奏はできる。音符は読めないため、担任が階名を付けている。</li> <li>・不器用さがある。</li> </ul>		
● その他		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通学を一人でするようになった。</li> <li>・他児が厳しく注意を受けていることに心を痛めることがある。</li> <li>・自分からの要求が少ないため、様子をうかがいながら教師側から気持ちをたずねることが多い。家庭での様子と学校での様子が違うので、家庭と連携を図り、本児の負担感を取り除くようにしている。</li> </ul>		

〔学校長の記入欄〕

児童生徒氏名

北九 一郎

学校長

〇〇 〇〇

⑤個別の教育支援計画		有	
⑥就学希望先の見学		実施した	
⑦就学希望先の体験		実施した	
自校実施でない場合は該当の学校名		〇〇中学校 知的障害特別支援学級	
⑧長期欠席の有無		無	
欠席期間		～	欠席日数
⑨交流及び共同学習の状況(実施している場合は、頻度や教科書について記入)			
・国語科、算数科以外の教科を毎日交流学級で受けており、適応状況は良い。			
⑩学校長の意見			
※ 校内支援委員会で協議した、当該児童生徒にとって必要な支援内容や望ましい就学先、また判断した理由について具体的に記入してください。			
<p>・本児は大変真面目で、規則正しい生活ができる。その反面、つらい気持ちを表明することができないため、苦しんでいるところもある。学校では、様子を観察し、個別の声かけをしている。保護者は、中学校からは通常の学級へと在籍を移りたいとしていたが、本人の不安に寄り添い、より丁寧な指導が必要であることを理解し、知的支援学級への進学を希望するようになった。本人も少人数学級での学習を望んでいる。</p> <p>・校内支援委員会では、本児の学力を高めるとともに、中学校への不安を少なくするような手立てを考え、見学に同行したり、中学校での生活を説明したりしている。</p> <p>・以上のことから、実態に応じた指導を受け、教科学習の交流及び共同学習においては無理なく参加できるものを選び、充実した中学校生活を送ることができるよう、中学校でも知的特別支援学級に在籍することが望ましいと考える。</p>			
⑪校内支援委員会で協議した、望ましい就学先			
<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 自閉症・情緒障害 <input type="checkbox"/> 難聴			
<input type="checkbox"/> 市立特別支援学校 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱			
<input type="checkbox"/> 県立特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害			